

阿巖太鼓 結成33周年

和太鼓 ライブ in はつかいち

“平清盛の如く 夢を創り 伝承する族たち”

特別ゲスト 鼓童 藤本 吉利・藤本 容子

友情出演 笙 武 由美子

阿巖太鼓「鼓響の会」

●日時／平成25年6月23日(日) 開演/13時(開場/12時30分)

●場所／**はつかいち文化ホール「さくらびあ」大ホール**
廿日市市下平良1-11-1 ☎(0829)20-0111

●入場料／前売券:3,000円 当日券:3,333円(全席自由席) ※本演習のお子さんの
ご入場はご遠慮ください。

◆チケット発売所ははつかいち文化ホール「さくらびあ」、デオデオ本店、アムパーク天満屋、イズミ五日市店、福屋広島駅前店「チケットサロン」

◆郵便振込によるチケット購入もご利用頂けます。郵便振替口座番号01380-8-45877 向井和弘(振込手数料はお客様負担をお願い致します)

■予約購入・お問合せ：(TEL・FAX)0829-39-6593 (携帯)070-5300-6593 向井まで

主催／阿巖太鼓「鼓響の会」

後援／広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、廿日市市、廿日市市教育委員会、公益財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団、廿日市市生涯学習推進本部、NHK広島放送局、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、中国放送、広島エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、中国新聞社



ひろしま音楽

鼓童 藤本 吉利・藤本 容子

藤本吉利は、太鼓芸能集団「鼓童」の最年長奏者。1972年に前身の「佐渡の國鬼太鼓座」に入団。1981年の鼓童結成を経て、国内外の数々の公演で「太鼓」や「舞台囃子」といった舞台のクライマックスを飾った鼓童の顔とも言える存在。同じ鼓童メンバーで藤本のパートナーである藤本容子は、歌い手として鼓童の舞台のほか、女性ユニット「花結」、また、ソロコンサートやワークショップなどで活躍している。



鼓童 太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。1年の1/3を海外、1/3を国内、1/3を本拠地・佐渡で過ごし、これまでに46ヶ国で3,500回を超える公演を行う、異なるジャンルの優れたアーティストとの共演、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加。2012年4月より、歌舞伎俳優・坂東玉三郎氏を芸術監督に招聘。

笙 武 由美子

広島市出身。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業
その後大学勤務のなかで音楽に出会い、笙の音色に魅せられる。
田淵光子氏に手ほどきを受け、村上律氏、伊藤えり氏に師事
伝統文化コーディネーター資格取得
現在、岩国短期大学兼任講師を務めるかたわら、笙の演奏活動を行う

思い 笙の音は「すっと伸びる竹のように空に昇り、鳥となって宙を舞い
そして宇宙に溶けていく。ド・レ・ミ・ファの世界にはない「ゆらぎ」を
多くの人に届けたいと思います。
私は演奏家というより、笙を響かせるための風の通り道。
そのことをとても嬉しく思います
そして皆様この楽器と一緒に旅をして
たくさんの方の人たちにこの「ゆらぎ」を伝えることを夢見ています。



阿蘇太鼓「鼓響の会」

阿蘇太鼓は「世界遺産・安芸の宮島」の対岸、外宮・地御前神社の-high台に跡を置き本年で結成33年を迎える。阿蘇の阿は、おおらか・やすらぎ・小高い丘を表し、蘇は、蝦島の頭文字を頂き、「おおらかに蘇しく」をモットーに、この地の芸能を太鼓の旋律で表現し、太鼓芸能の確立に取り組む。
今回のタイトル「平清盛の如く夢を創り伝承する彼ら」は、夢を創造し、蝦島に残した清盛の遺産とその精神・生き様を芸能を通じて伝承・継承する決となりたい。
清盛の宮島創建から現在までを演奏構成とした。
音戸の瀬戸を開き、蝦島創建・管弦祭・薬業・舞・花火大会と過去から今へ……

